

\*\*\*\*\*  
平成18年度第5回 音環境運営委員会 議事録(案) 記録：古賀  
\*\*\*\*\*

A. 日 時 平成18年12月18日(月) 17時00分～19時00分

B. 場 所 建築会館304室

C. 出席者 平松友孝、中澤真司、赤尾伸一、岩瀬昭雄、大鶴徹、河井康人、岸永伸二、  
佐久間哲哉、中川 清、濱田幸雄、坂本慎一、羽染武則、安岡博人、吉村純一、  
吉久光一、古賀貴士

(敬称略)

欠 席 者 井上勝夫、佐藤哲身、福地智子、藤本一壽(敬称略)

D. 提出資料

No.5-0 平成18年度第4回音環境運営委員会議事録(案)(古賀)

No.5-1 2006年度第4回環境工学本委員会議題(抜粋)

No.5-2 2007年度 委員会活動計画案

No.5-3 シンポジウム 実施計画書

No.5-4 <資料>シンポジウムの回数表示について(清水技研・宮島)

No.5-5 日本音響学会騒音・振動研究委員会 今後の予定(藤本)

No.5-6 日本音響学会建築音響研究会 今後の予定(吉村)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.5-1)

2. 本委員会報告(資料No.5-2)

- ・ 2006年度大会研究協議会資料「建築環境性能に関する説明責任」300部印刷して既に完売している。⇒11月末からデジタルライブラリーとして頒布している。
- ・ 直営出版物、委託発行図書の販売部数の状況について一覧表をもとに確認した。
- ・ 2005年度シンポジウム等開催結果一覧表の確認をした(音環境は5件実施)。
- ・ 社会ニーズ対応推進委員会の設置について、主査より紹介された。
- ・ 2008年度から大会において作品発表の場を設ける。大会建築作品発表梗概集を作成予定。
- ・ 2007年度大会(8/29～31)：紙面投稿締切4/10、電子投稿締切4/15、プログラム編成5/11(金)
- ・ 2006年度大会において、第三者が発表者になりすまし梗概の取り下げを行った事件を鑑み、取り下げの手続きを変更する。
- ・ 梗概集CD-ROMは、DVDに変更することを含めデータ構成を検討中。
- ・ 建築学会大賞候補として、宮野先生(名古屋大)、尾島先生(早稲田大)、木村先生(日大)が候補として挙げたが、環境工学委員会としては尾島先生を推薦することとなった。
- ・ 環境工学シンポジウム(大会研究懇談会)の案が示され、大会三日目に各運営委員会から15分ずつ報告することとなった。
- ・ 大会細分類、細々分類については、建築設備等の運営委員会間において重複する細々分類の扱いに関する議論が進展中である。そのため、見直しが必要であれば修正が可能な状況。
- ・ 委員会設置申請・事業計画のスケジュールについて確認。
- ・ シンポジウム「重量床衝撃音の標準衝撃源(3/6)」、「室内の音声伝送品質の設計・評価の確立に向けて(3/30)」の開催が承認された。

3. 来期委員会活動計画案(資料No.5-2)

- ・ 交通費支給回数を一律一回分とし予算に計上した。通信費・コピー費を削除して提出した。
- ・ アカデミックスタンダードWGは今期で解散とする。企画広報WGの中で議論を深めることとし、必要に応じて新たなWGを設置することとする。
- ・ シンポジウムを4回(床衝撃音、規格・基準、数値解析、室内音響)予定する。他にホール見学会等を2回程度予定している。

4. シンポジウム企画について

- ・ 『音環境に関する法規制・規格・基準の現状とアカデミックスタンダードについて』(3月23日開催)の実施計画について中川委員より説明があった。
- ・ 音シンポジウムの回数表示についての調査結果(清水技研・宮島氏)を確認した。次回より回数表示を復活することが承認された。次回「重量床衝撃音の標準衝撃源」は59回音シンポジウムとなる。

5. CASBEE見直しの件